

Q 地図で発見! 解答と解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	! ポイント解説
49	☑ 36	日本の東北地方北部や北海道地方にあたる、北緯40°～50度の範囲に位置するヨーロッパ州の国を五つ以上答えよう。	ポルトガル、スペイン、フランス、イタリア、モンテネグロ、ブルガリアなど	北緯40・45・50度の緯線(青色の曲線)を指でなぞってみよう。ヨーロッパの多くの国が、北海道よりも北に位置していることがわかります。
49	☑ 37	面積が北海道と同じくらいに見える大きさの国を、北緯40°～50度の範囲で三つ挙げ、実際の面積をp.178やp.181の統計で確認しよう。	オーストリア、セルビア、ハンガリーなど	p.178やp.181の統計を見ると、ヨーロッパの国と北海道の面積がわかります。
51	☑ 38	国際河川のライン川とドナウ川を指でたどり、通過する国または首都をそれぞれ三つ以上答えよう。	国：ライン川…スイス、ドイツ、フランス、オランダなど / ドナウ川…ドイツ、オーストリア、スロバキア、ハンガリー、クロアチア、セルビア、ブルガリア、ルーマニア、ウクライナ など 首都：ドナウ川…ウィーン、ブラチスラバ、ブダペスト、ベオグラードなど	二つの川を指でたどっていくと、青色の線で示された川と赤色の線で示された国境線が重なっているところがあり、川が複数の国の国境に利用されていることがわかります。
51	☑ 39	ヨーロッパの高速鉄道網の発達の様子を、パリからロンドン、ベルリン、マドリッド、ローマまでの路線を指でたどって確認しよう。	省略	p.51①図左上に示されている高速鉄道の凡例を確認し、路線を指でたどってみよう。フランス国内にはTGV、ドイツ国内にはICEの文字が青色で示されています。
53	☑ 40	ヨーロッパを南北に分ける大きな山脈を探そう。また、その山脈が東西にはしる国を、p.51～52の地図で確認して答えよう。	山脈…アルプス山脈 / 国…スイス、オーストリア、リヒテンシュタイン、イタリア	アルプス山脈で最も高い山の名前と高さを、p.51①図で調べてみよう。また、p.17①図を見ると、アルプス山脈は亜寒帯(うす紫色)が広がり、その北と南では気候も異なっていることが読み取れます。
55	☑ 41	④図のような混合農業がさかんな地域はヨーロッパのどの国に多くみられるか、①図を確認して答えよう。	ドイツ、フランス、チェコ、ポーランド、オランダ、ベルギー など	アルプス山脈より北側の地域では、夏の気温が低く降水量も年間を通して安定している(西岸海洋性気候)ため、畑作物と家畜の飼育を組み合わせ合わせた混合農業が行われてきました。地力の低下を防ぐため輪作が行われています。
57	☑ 42	④図を見て、東ヨーロッパから移動してくる外国人が多い国を三つ以上答えよう。また、その理由を③図を見て、考えて説明しよう。	国…ドイツ、スペイン、イタリアなど / 理由…これらの国はEU内では国民総所得額が高く、EU域内での移動が自由になった結果、より多くの収入を求めて、働きに行く労働者が増えたから。	③図と④図を重ね合わせてみるとわかります。1人あたりの国民総所得額を見ると、EU域内では、東ヨーロッパと西ヨーロッパ諸国の経済格差が大きいことが読み取れます。

Q 地図で発見! 解答と解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	! ポイント解説
58	☑ 43	①図のスラブ系民族と分布の傾向が似ている宗教を答えよう。また、トルコ系民族の場合も答えよう。	スラブ系民族…正教会 / トルコ系民族…イスラム教	民族と宗教の分布の傾向は似ていますが、一つの国の中にも複数の民族がいることがわかります。また、ロシア連邦は正教会が多いが、イスラム教やユダヤ教もみられることがわかります。
59	☑ 44	シベリア鉄道でロシア連邦の首都モスクワから日本海に面するウラジオストクまで行くのにかかるおよその日数を答えよう。	およそ6～7日(モスクワを出発した時刻から24時間が経過するまでを1日として計算したとき)	地図中のモスクワには赤色の字で1日23時45分(モスクワ発時刻)、ウラジオストクには8日00時07分(モスクワ時間)と示されているので、その差から答えが求められます。
59	☑ 45	モスクワとロシア連邦の東端とは、時差が何時間あるか答えよう。	9時間	p.60の凡例にモスクワ0時の場合のロシア連邦内各地の標準時が時計のイラストで示されています。また、時計のイラストの上には、モスクワとの時差が赤色の数字で示されています。
62	☑ 46	南・北アメリカ州の東西にある大洋を答えよう。	大西洋、太平洋	一般図の地図では、大洋・海・湾・海峡・川・湖など水に関係したものは、青色で名称が示されています。
62	☑ 47	北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の太平洋側に連なる高い山脈と、陸の高さが2000m以上にある首都を答えよう。	北アメリカ大陸…ロッキー山脈 / 南アメリカ大陸…アンデス山脈 / 首都…メキシコシティ、ボゴタ、キト、ラパス	高い山脈は濃い茶色で示されています。また、都市の記号のまわりに都市標高(p.4参照)が数字で示されている場合があります。ボリビアの首都ラパスの都市標高は4058(m)と示されています。
64	☑ 48	アメリカ合衆国とカナダにある国立公園(世界自然遺産を含む)は、大陸の東部・西部のどちらに多くみられるか答えよう。	西部	山脈地帯には、雄大で美しいさまざまな地形が多く見られ、国立公園になっているところもあります。
66	☑ 49	アパラチア山脈とロッキー山脈はどちらが険しいか、p.63～64の地図で陸の高さにも注目して答えよう。	ロッキー山脈	①図の鳥瞰図を見ると、ロッキー山脈は険しい山々が連なり、アパラチア山脈はなだらかな感じなのがわかります。
67	☑ 50	④図のような大規模な農場で飛行機は何に使われているか予想しよう。	種まき、農薬の散布、作柄のチェック など	④のイラストを見ると、Kさんの農場の広さは縦・横の距離が7kmほどあります。これを自分が住んでいる地域にあてはめると広さが実感できます。なお、1haは縦・横100m×100mの面積です。
68	☑ 51	⑤図から、工業がさかんな北東の五大湖周辺と南のサンベルトとよばれる地域をそれぞれ見つけよう。	略	⑥図を見ると、アメリカ合衆国の工業は、五大湖周辺とサンベルトでさかんなことがわかります。
68	☑ 52	51の問いの二つの地域では、さかんな工業にどのような特色の違いがあるか説明しよう。	五大湖周辺：五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を利用した鉄鋼、自動車工業がさかん。 サンベルト：航空機や電子機器などの先端技術産業がさかん。	19世紀以降に五大湖周辺で、20世紀後半にサンベルトで工業がさかんになった理由を、教科書などを使って調べてみよう。

Q 地図で発見! 解答と解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	! ポイント解説
69	☑ 53	②図のアフリカ系、ネイティブアメリカンの割合が高い州の州別貧困率は、高くなっているか、それとも低くなっているか、④図を見て答えよう。	高くなっている	ミシシッピ州の貧困率が高いのは、ハリケーンによる洪水被害が多いことや、人種差別を受けやすいアフリカ系住民の割合が高いこと、歴史的に綿花産業からの脱却が難しいことなどがあげられます。
70	☑ 54	たいせいよう 大西洋でどのような歴史的できごとがあったのか、地図から一つ取り上げて調べ、クラスで紹介しよう。	省略	p.70の凡例に記載されている矢印やその内容を用いて、答えてみよう。スペインやポルトガルなどのヨーロッパ人による新航路の開拓が続いた時代を、大航海時代といいます。5W1Hを使って、エピソードも入れながら1分程度にまとめ、このページの地図も使いながら紹介してみよう。
71	☑ 55	地球の正反対側に置いた日本と同じ緯度にある首都を三つ答えよう。	サンティアゴ、ブエノスアイレス、モンテビデオ	地球の正反対側に置いた日本は、ほぼ全土が大西洋上に位置し、南アメリカ州の南部と同じ緯度になります。
72	☑ 56	アマゾン川の河口からマナオスなどの都市がある内陸部まで船でのぼることができる理由を、㊦の断面図やp.71①図の陸の高さに着目して説明しよう。	河口と内陸部との高低差が小さく、川の流れがゆるやかなから。	p.71の地図を見ると、アンデス山脈のふもとの都市イキトスは、都市標高が125mと表示されており、アマゾン川は大部分が、長くゆるやかな川であることがわかります。
73	☑ 57	チリやブラジル、ベネズエラでとれるおもな鉱産資源をそれぞれ二つずつ答えよう。	チリ…銅、鉄鉱石など / ブラジル…鉄鉱石、ボーキサイト、原油など / ベネズエラ…原油、天然ガスなど	p.180④「世界のおもな鉱産資源・工業製品の生産」で、チリの銅鉱石、ブラジルの鉄鉱石の、世界に占める生産量の割合と順位を調べてみよう。
74	☑ 58	森林が減少し、開発が進んだところには、何がつくられたのか、凡例を見て答えよう。また、1970年から2014年の間に減少した森林面積を日本やチリの面積と比べよう。	市街地、畑、牧場、道路、鉱山、鉄道、ダムなど。 ブラジルでは、1970年から2014年の間に、日本の面積の約2倍、チリの面積と同じくらいの森林が減少している。	ブラジル高原を中心に開発が進んだことが読み取れます。カラジャスとサンルイス間に鉄道がしかれたのは、鉄鉱石や金などの鉱産物を港まで運び、輸出するためです。ダムがつくられたのは、電力需要増加で、水力発電所を建設するためです。
75	☑ 59	たいせいよう 太平洋を取り巻くエイベック APECの21の参加国・地域のうち、アジア州以外の参加国・地域を五つ以上答えよう。	オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、ペルー、チリなど	APEC参加21か国と地域は、世界人口の約4割、貿易量の約5割、GDPの約6割を占め、日本にとっても重要な地域です。APECの目的や特徴、日本の役割などについて調べてみると学習が深まります。
75	☑ 60	たいせいよう 大西洋から太平洋に抜ける際に、マゼランが通った海峡を答えよう。また、マゼランの航路と比べたときの、パナマを通る現在の航路の利点を答えよう。	海峡…マゼラン海峡/利点…航路の距離と時間が短縮できて燃料が削減された。航海中の危険が減った。など	1520年10月に、南アメリカ大陸最南端とフエゴ島の間にある海峡をマゼランが発見、通過したことから、マゼラン海峡の名がつけられました。

Q 地図で発見! 解答と解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	! ポイント解説
77	☑ 61	太平洋上にある島々の海岸のまわりの特色を、地図とp.4の凡例を見て答えよう	島がサンゴ礁に囲まれている。	p.4の世界の自然の記号で、サンゴ礁の記号を確認しよう。オーストラリア大陸北東部の周辺にもサンゴ礁の記号があり、グレートバリアリーフの文字や世界自然遺産の記号がかかれています。p.78②～④図も参考にしよう。
77	☑ 62	オーストラリアとニュージーランドでいちばん高いコジアスコ山とアオラキ(クック)山を探し、山頂の高さを確認しよう。	コジアスコ山…2228m/アオラキ(クック)山…3724m	コジアスコ山は、冬季にはスキーリゾート地になっています。アオラキ山はクック山ともよばれています。名前の由来を調べてみよう。
79	☑ 63	オーストラリア西部のマウントホエールバックで採掘された鉄鉱石は、どのような輸送手段で輸出されているか、二つ答えよう。	鉄道と船	都市ニューマンのあたり、マウントホエールバックの鉄鉱石の露天掘りのイラストがあり、そこから鉄鉱石を運ぶ輸送列車のイラストがあります。そして、都市ポートヘッドランドのあたりに、鉄鉱石の積み出し港と鉄鉱石運搬船のイラストがあります。
79	☑ 64	①図で緑色や茶色の地域のようなすを、②図と⑤図を関連させて説明しよう。	緑色の地域：熱帯林、サバナ、温帯林、草地・牧草地、畑が見られ、オーストラリアのなかでは人口密度が高いところが多い。 茶色の地域：砂漠が広がり、人口密度が極端に低くなっている。	オーストラリア大陸は、年降水量500mm未満の地域が3分の2を占め、人口密度が3人/km ² ととても低くなっています。南東部や南西部は、比較的降水量が多く農業がさかんで、大きな都市もみられます。
80	☑ 65	オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか、④・⑦図を確認して答えよう。	④図のころはイギリスやアイルランドなどヨーロッパからの移民が多かったが、⑦図のころになると距離的に近いアジアやオセアニアなどヨーロッパ以外からの移民が多くなった。	1901年にオーストラリア連邦が成立したとき、白人以外の移民を制限する政策(白豪主義)が取られましたが、1970年代に廃止されるとアジアやオセアニアの国々からの移民が増え、多文化社会へと変化しました。